

受付番号

## 青葉区まちづくり活動助成事業申込書（新規）

申込年月日：令和 年 月 日

(あて先) 仙台市長

助成金の交付を受けたいので、下記のとおり申込みます。

申込事業名	※活動企画の目的や内容を端的にあらわす事業名を記載してください。 地域ふれあいねっとわーく	
助成申込額	△△△,000 円 ※千円単位で記入してください。	助成申込額＝総事業費－自己資金

## &lt;申込者&gt;

団体名 <sup>ふりがな</sup> 青葉 <sup>あおば</sup> ○×ネットワーク

団体の所在地 〒980-×××× 仙台市青葉区上杉○丁目×-×

代表者名 <sup>ふりがな</sup> 青葉 <sup>あおば</sup> ケヤキ E-mail Keyaki.a@○×.jp

Tel ×××-×××× Fax ×××-××××

&lt;連絡先&gt;（上記代表者と同じ場合は「同上」と記載願います。）

住 所 〒980-×××× 仙台市青葉区国分町○丁目×-×

担当者名 <sup>ふりがな</sup> 仙台 <sup>せんたい</sup> みどり E-mail midori.s@○×.jp

Tel ×××-×××× Fax ×××-××××

## 1. 団体について

(1)設立年月日	平成18年4月1日	(2)会員数	20人
(3)設立趣旨 ※団体設立の経緯や目的についてお書きください。	高齢者とこどもの交流をボランティアや学生が媒体となって深めることで、地域の伝統や慣習がこどもたちに伝わるとともに、高齢者の生きがいづくりにも繋がると考え団体を設立した。		
(4)主な活動内容 ※現在どのような活動を行っているか、最近の活動実績などもお書きください。	○○地区こども会と連携、○×大学の学生を中心としたボランティアメンバーがこどもたちを連れて、青葉区内の町内会の高齢者クラブや老人保健施設等を訪問し、昔の遊びなどを通じてこどもと高齢者の交流を図っている。		
(5)市税納付状況確認 (該当する方を○で囲む。)	申込団体の仙台市市税納付状況（税目・税額・申告の有無等）を青葉区まちづくり推進課が、税務担当課に照会することに <input checked="" type="radio"/> A. 同意します      B. 同意しません （証明書の添付が必要になります）		
(6)暴力団等排除に関する誓約	<input checked="" type="checkbox"/> 申込者は、暴力団等と社会的に非難されるべき関係を有していないことを誓約します （誓約する場合、 <input checked="" type="checkbox"/> を入れる。虚偽申告が判明した場合、助成金交付を取り消すことがあります。）		

※①会員名簿、役員名簿、②団体の規約や会則、その他団体についてわかる資料を添付してください。  
 ※この申込書及び添付資料（会員名簿、役員名簿以外）の写しは、公開で実施する事業計画説明会の際に参加者に配布します。  
 ※申込書の様式は、青葉区ホームページからダウンロードできます。

## 2. 事業の内容について

(1)申込事業名	地域ふれあいねっとわーく
事業の分野（該当する項目を○で囲む）	<div> <div> <div>(A) 地域の課題の解決</div> <div>B. 地域コミュニティの活性化</div> </div> <div> <div>C. 地域の特色をいかし、魅力を高める</div> <div>D. その他（ ）</div> </div> </div>
(2)事業の目的及び期待される効果 ※事業の目的、どのような課題を解決するのか、期待される効果などを具体的にお書きください。	核家族化が進む中で高齢者とのつながりを持つことのない子どもたちが増加し、遊びの主流はゲームやインターネットである。一方で、〇×地区では、高齢世帯が増加してきており、高齢者の生きがいがづくりが地域の課題である。 本事業では、〇×地区の高齢者が子どもたちに昔の遊びを教えることを通じて、子どもたちと高齢者との交流を深めることが目的である。 この中で子どもたちは古くからの慣習に触れることができ、また高齢者は新たな生きがいが生まれる。 この事業を行うことによって二つの課題を解決することが可能となる。
(3)事業の概要 ※次の項目がわかるようにお書きください。 （なお、記載欄が不足する場合は、別に作成した資料を添付することも可能です。）	① 事業の全体像及び具体的な事業内容について 今年度だけの単年度事業の場合は、具体的な事業内容を記載してください。また、複数年度で事業を考えている場合には、事業の全体像と今年度実施する具体的な事業内容を記載してください。
	② 事業の広報の方法について 事業を実施するにあたって、活動を周知するための広報をどのように行うか記載してください。 例：チラシの作成、テレビ・ラジオ・新聞等の利用、地域の回覧板の利用等々
	③ 事業の実施体制について（役割分担・関係団体の協力体制） 事業を進めるにあたって、団体内の役割分担がわかるように団体内の事業実施体制を記載してください。また、他の団体等に協力を要請する場合には、事業全体の各団体の関わり方を明らかにしてください。
	事業開始月       ：       年       月 事業完了予定月：       年       月
(4)事業に係る他助成制度からの助成について	① 令和８年度の他助成制度への申請予定       有■ 無□ 有りの場合その名称 （ ×〇財団   〇〇助成制度   〇〇万円   ） ②過去３年間の他助成事業の活用状況       有■ 無□ 有りの場合その名称 （ △△協議会   〇〇育成助成制度   〇〇万円   ）

### 3. 事業のアピールポイント

※新たな視点・発想がどこにあるのか、どのような点に工夫しているかなど、この事業のアピールポイントを具体的にお書きください。（なお、記載欄が不足する場合は、別に作成した資料を添付することも可能です。）

この事業を実施することで、子どもと高齢者の交流が深まり、互いに日常で得られなかった体験をそれぞれが得ることとなる。子どもにとっては、昔の慣習を知ると同時に高齢者への配慮の精神を身をもって知る機会となる。また、高齢者は遊びを教えることを通じ子どもと触れ合うことによって、子どもに対し何かを施してあげたいという新たな生きがい形成されることとなる。世代を越えた交流により、子どもは人間性豊かな新たな経験を積み、高齢者は地域の慣習を将来へ繋げる役割を果たすこととなる。

#### 4. 事業の活動スケジュール

※月次計画を行事名及びその内容がわかるようにお書きください。

時 期	行事名・活動内容
4 月	交流会実施地域の事前調査
5 月	参加ボランティアスタッフへの研修
6 月	事業実施の周知活動
7 月	××地区交流会開催（事業実施後アンケート調査を行い、改善点を見出す。）
8 月	×○地区交流会開催（事業実施後アンケート調査を行い、改善点を見出す。）
9 月	×○地区交流会開催（事業実施後アンケート調査を行い、改善点を見出す。）
10 月	×○地区交流会開催（事業実施後アンケート調査を行い、改善点を見出す。）
11 月	事業参加者によるフォーラムの開催
12 月	報告書作成
1 月	
2 月	
3 月	
備 考	

## 5. 収支

(単位：円)

## 収入の部

項目	金額	内訳
市助成金	△△△,△△△円	△△△円×20名
〇〇財団助成金	△△△,△△△円	
会費	△△,△△△円	
自己資金	△△,△△△円	
合計	△△△,△△△円	

## 支出の部

項目	金額	内訳
(助成対象経費)		※可能な限り算定根拠を明記して下さい。(単価、部数等)
■研修会		
印刷費	△,△△△円	資料印刷費△△円×〇〇枚×〇〇部
■交流会		
会場使用料	△△,△△△円	市民センター△,△△△円×4回
印刷費	△,△△△円	チラシ△△円×〇〇〇部
		当日プログラム△△円×〇〇部
■フォーラム		
講師謝礼	△△,△△△円	
会場使用料	△△,△△△円	市民センター小ホール△,△△△円
印刷費	△△,△△△円	当日次第等△△円×〇〇部
機材賃借料	△,△△△円	マイク、机等
(助成対象外経費)		
打合せ・会議費	△△,△△△円	弁当・お茶代△,△△△円×〇回
保険料	△△,△△△円	
合計	△△△,△△△円	

「収入の部の合計金額」と「支出の部の合計金額」  
は同じ金額になるようにしてください。

## 6. 助成終了後の活動計画

※助成終了後活動をどのように展開していくか、資金計画も含めて現時点で検討していることをお書きください。

引き続き昔の遊びを通じて、地域の伝統や慣習の次世代へ継承するとともに高齢者の生きがいを  
りにつなげていく。

今後は、様々なイベントに参加し、活動内容の紹介を行いながら積極的に活動していく。

また、SNS を活用した周知も積極的に行い、会員数のさらなる増加を目指すとともに資金調達に  
つなげていきたい。

翌年度以降の活動継続の可能性

有 ・ 無